

平成 22 年度調査研究事業

(3) 共同研究 (5 件)

(単位：円)

| | 事業者 研究者 | 研究題目・目的・期間 | 基金助成額 (全体事業費) |
|---|---|--|--------------------------------|
| 1 | 久慈琥珀株式会社 代表取締役社長 向 正彰 (久慈市) 岩手大学農学部 准教授 木村 賢一 | 題目：久慈産琥珀から単離された新規生物活性物質の機能性の科学的証明 目的：久慈産琥珀に含まれる新規の生物活性物質の定量法の確立及び機能性物質の正確な分析と抗アレルギーに関わる機能性を動物も含めて科学的に証明し、その機能性を生かした商品開発へと展開させる。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度 | 1,200,000 (1,500,000) |
| 2 | 久慈地方森林組合 代表理事組合長 新屋 清満 (久慈市) 岩手大学教育学部 准教授 田中 隆充 | 題目：南部琥珀松を用いた幼児向け組木教材を開発するための接合構造の開発と商品化への応用 目的：他の木材と比較して触れたときの温もりが暖かいとされる南部琥珀松の特性を活かし、幼児が木に親しむことができ、伝統的な組木の技法に触れられる、安全性の高い組木教材の設計開発を行い、建築材以外の新しいビジネス分野を開拓する。また、併せて南部琥珀松の地域ブランドとしてのPRを行い、三陸地域の経済の活性化に貢献する 期間：平成 22 年度 | 786,544 (983,180) |
| 3 | 株式会社アマタケ 代表取締役社長 甘竹 秀企 (大船渡市) 北里大学海洋生命科学部 准教授 佐藤 繁 | 題目：麻痺性貝毒除染効果を持つ新規二枚貝用飼料の開発 目的：近年解明されつつある二枚貝の麻痺性貝毒の代謝機能を応用し、安価なフェザーミールをベースとして、麻痺性貝毒除染効果を持つ付加価値の高い二枚貝用飼料を開発する。 期間：平成 21 年度～平成 22 年度 | 616,000 (770,000) (期間延長) |
| 4 | 株式会社丸辰カマスイ 代表取締役会長 田代勝男 (釜石市) 北里大学海洋生命科学部 教授 森山 俊介 | 題目：サケ頭部の機能性成分配合飼料を有効利用した魚類の増養殖技術の開発 目的：サケ頭部の未利用資源から調製した増体促進成分配合の機能性飼料を調製し、その有効性をヒラメ・カレイ類及びコイ類で実証するほか、増体促進成分の量産化及び品質評価法の確立を行う。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度 | 1,200,000 (1,500,000) |
| 5 | E C O - A 株式会社 代表取締役 水野 芳伸 岩手大学人文社会科学部 教授 河田 裕樹 一関工業高等専門学校 准教授 渡邊崇 | 題目：ホタテ貝殻焼成パウダーの除菌・抗菌効果検証、評価 目的：貝殻を工業会に普及させ、消費拡大することを目的とし、貝殻が持つ除菌・抗菌効果を付加した新しい工業用熱可塑性樹脂のベースポリマー違いによる数種類の熱可塑性樹脂を開発する。これに使用するホタテ貝殻焼成パウダーの焼成条件、混合比率、貝殻の構造の違いによる除菌・抗菌効果の検証・評価を行う。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度 | 352,880 (441,100) (期間延長) |
| | | 基金助成額計 - 1 (全体事業費計) | 4,155,424 (5,194,280) |